



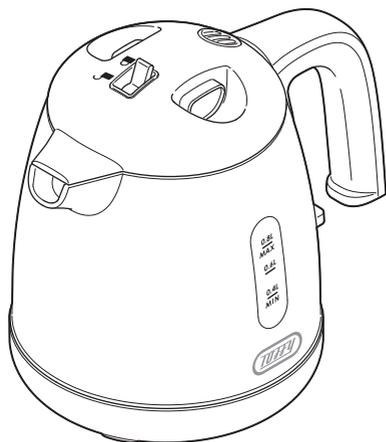
給湯ロック付き電気ケトル

品番：K-HKT1

家庭用

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	7
各部の名称	9
ご使用の前に	10
使いかた	12
お手入れのしかた	17
故障かなと思ったら	18
製品仕様	20
保証書	20



ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。



警告

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■電源プラグ・電源コードについて



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

破損した電源コードの修理をしない。
火災・感電・ショート・発火の原因となります。

電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源プラグや電源コードが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因となります。



電源プラグや電源コードを水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。
感電・破損の原因となります。



交流 100 V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取る。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

電源プラグや電源コードが破損した場合、直ちに使用を中止する。
すぐにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口へ点検・修理をご相談ください。
感電・ショート・火災の原因となります。



警告

⚠
注意

 使用後、電源コードを製品に巻き付けない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

使用中や使用直後は、電源コードを製品の下に通したり、温度の高くなる部分に近づけたりしない。
電源コードの損傷により、感電・火災の原因となります。

 使用時以外は、電源プラグをコンセントからはずす。
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って引き抜く。
感電・ショートの原因となります。

■ 取り扱いについて

 本体の分解・改造はしない。
火災・感電・けがの原因となります。
製品のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。
火災の原因となります。

本体の底面や給電スタンドを水に浸したり、水をかけたりしてぬらさない。
火災・ショート・感電・故障の原因となります。

幼児の手の届くところで使用・保管しない。
誤使用により思わぬ事故の原因となります。

お湯を沸かす以外の目的に使用しない。
火災・感電の原因となります。

MAX ライン(最大水量:0.8L)を超える量の水を入れない。
火災・やけどの原因となります。

 ふたを持って本体を移動させない。
お湯が流れ出てやけどの原因となります。

本体を転倒させない。
お湯が流れ出てやけどの原因となります。

専用給電スタンド以外は使用しない。または給電スタンドを他の機器に転用しない。
火災・故障の原因となります。

本体を傾けたり、ゆすったりしない。
お湯が流れ出てやけどの原因となります。

空焚きをしない。
火災・故障の原因となります。

ふたを開けたまま、または給湯ロックレバーを解除した状態で沸かさない。
空焚き防止機能が働かず、沸騰しても電源スイッチが自動的に OFF にならない場合があり、空焚き状態になり、火災・故障の原因となります。

⚠
警告

安全上のご注意 (続き)

警告



使用中や使用直後にふたを開けない。

蒸気が出てやけどの原因となります。

本体を直火やIH調理器、電気ヒーターなど本製品以外の熱源で使用しない。

火災・破損の原因となります。

使用中や使用直後の本体・ふた・蒸気口周辺や電源接続部は高温になるため、顔や手を近づけない。取っ手以外の部分には触らない。

やけどの原因となります。



安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する。

感電・けが・やけどの原因となります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災・けが・やけどの原因となります。

ご使用中に下記のような異常を感じた場合は使用を中止する。

- ・本体が異常に熱い
 - ・焦げくさい
 - ・異常な動作をする
- 発火・けがの原因となります。

注意



本製品は一般家庭用です。業務用として使用しない。

火災・故障の原因となります。

本製品は室内専用です。屋外では使用しない。

火災・故障の原因となります。

本体や各部品に衝撃を加えない。

破損してけがや故障・火災・感電の原因となります。

破損や変形、ぐらつきやがたつきがあるときは絶対に使用しない。

感電・けが・故障の原因となります。

温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しない。

故障・変形の原因となります。



外部タイマーや個別の遠隔操作システムと一緒に使用しない。

火災・やけどの原因となります。

お手入れするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシ、塩素系漂白剤などを使用しない。

傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。

食器洗浄機・食器乾燥機など使用しない。

変色・変形・劣化や破損などの原因となります。

本来の使用方法以外の目的・用途に使用しない。

本書の内容以外に使用したり、誤った方法で使用したときは、けが・故障の原因となります。



壁や家具の近くで使用しない。
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。

ガラス窓の近くで使用しない。
ヒビが入ったり割れる恐れがあります。

電源接続部にピンを差し込んだり、ホコリやゴミを付着させない。
感電・ショート・火災・故障の原因となります。

水以外の飲料を入れない。
揚げつき・腐食・故障の原因となります。

給電スタンドに本体をのせた状態で本体に水を入れない。
電源接続部に水が入って、火災・ショート・感電・故障の原因となります。

給湯口や蒸気口をふさがない。
お湯が吹きこぼれてやけどの原因となります。

使用中に製品を移動させない。
やけど・故障の原因となります。

使用中や使用直後にはふたを開けない。
やけどの原因となります。

氷を入れて保冷用には使用しない。
結露が発生し、感電・故障の原因となります。

電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない。
電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因となります。



電源接続部のまわりに水滴が付いたときは、ふきんなどで必ず拭き取る。

感電・ショート・火災・故障の原因となります。

沸騰状態がおさまってからお湯を注ぐ。
お湯が飛び散り、やけどの原因となります。

ふたをしっかりと取り付ける。
ふたを正しく取り付けていないと、沸騰しても電源スイッチが自動的にOFFにならない場合があり、空焚き状態になり、火災や故障の原因となります。

お湯が吹きこぼれたときは、すぐに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜く。
感電・ショート・火災・故障の原因となります。

連続使用する際は、ふたや本体が冷めてから使用する。
やけどの原因となります。

持ち運びやお手入れ、保管をするときは、本体が冷めてから行う。
火災・やけどの原因となります。

安全上のご注意 (続き)

■ 置き場所について



製品の上や下に燃えやすいものを置いたり敷いたりしない。

火災の原因となります。

不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しない。

けが・故障の原因となります。

高温や多湿な環境で使用および保管をしない。

故障の原因となります。

ビニール製のテーブルクロスなど熱に弱い敷物の上に置いて使用しない。

跡形がつく恐れや火災の原因となります。



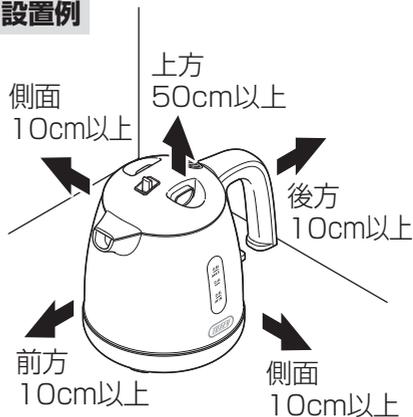
壁や家具から右図の距離をあけて設置する。

火災や熱による家具の変形・変色の原因となります。

水のかからない場所に設置する。

感電・故障の原因となります。

設置例



- 水平な場所、安定した台の上などに置いてください。
- 前方および側面の片方は開放するように設置してください。
- 上図はあくまで目安であり、熱に弱いものなどはより離れた場所に置かれることをおすすめします。

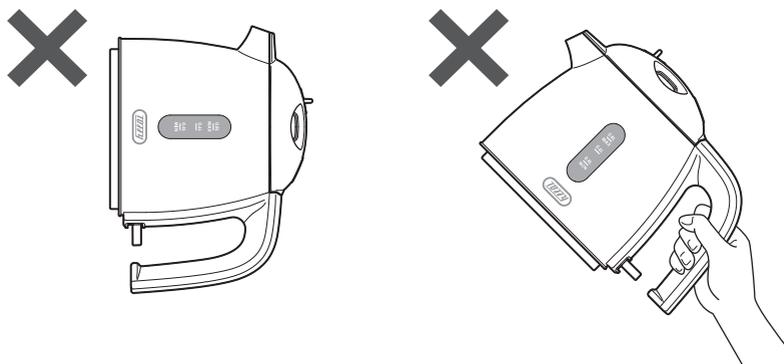
注意

使用上のご注意

- 本製品は一般家庭用です。その他の用途には使用しないでください。
- 屋外で使用しないでください。
故障の原因となります。
- 不安定な場所で使用しないでください。
けが・破損の原因となります。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用する場合は、水に含まれるミネラル成分が本体内部に付着しやすくなります。
- 使用前にふたパッキンと給湯口パッキンの破損がないか点検してください。
破損を見つけた際は使用するのを止め、新しいものと交換してください。お湯や蒸気漏れにより、やけど・故障の原因となります。パッキンの取り付け/取りはずしは 10、11 ページを参照してください。
- 専用部品以外は使用しないでください。
他社製の部品等、専用部品以外のものを使用しないでください。故障・やけど・けがの原因となります。
- ふたをしっかりと取り付けてください。
ふたを正しく取り付けていないと、沸騰しても電源スイッチが自動的に OFF にならない場合があり、火災・故障の原因となります。
- 本体は、水蒸気を検知して電源スイッチが切れる仕組みになっています。
蒸気の気化水が水滴となり、本体底面の排水口や電源スイッチ部から垂れる場合があります。故障ではありませんが、よく乾かしてからご使用ください。
- 本製品は、本書の記載の通りのご使用において、転倒してもお湯がこぼれ出にくい構造となっておりますが、万一転倒した場合は、お湯がこぼれ出る場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品に保温機能は付いていません。
- 空焚き防止機能が働いた場合は、電源スイッチは自動的に切れますが、空焚きしないでください。
故障の原因となります。
- ふたを傾けたり、振ったりすると、カラカラという音がしますが、これは転倒したときにお湯の流出を防止するための弁の音で、異常ではありません。
- ごく少量の水で電源スイッチを ON にしないでください。
ごく少量の水が残っていることに、乾燥目的などで電源スイッチを ON にしないでください。温度ヒューズが切れて使用できなくなる恐れがあります。
- 水質改善材・浄化材（備長炭）など、水以外のものを本体の中に入れてしないでください。
故障の原因となります。

使用上のご注意 (続き)

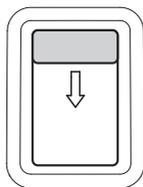
- 使用中や使用直後の本体・ふた・蒸気口周辺や電源接続部は高温になるため、顔や手を近づけないでください。取っ手以外の部分には触らないでください。
やけどの原因となります。
- 使用後は、本体内部のお湯を残さず空にしてください。
本体にお湯が残っていると、蒸気の気化水が水滴となり、本体底面の排水口や電源スイッチ部から垂れる場合があります。故障ではありませんが、よく乾かしてからご使用ください。
- お手入れは本体が冷めてから行ってください。
- お手入れするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシ、塩素系漂白剤などを使用しないでください。
傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。
- 本体に水が入った状態で、取っ手側に倒したり、大きく傾けたりしないでください。
取っ手側内部の蒸気感知口に水が入り、本体底部や電源スイッチ部分から水が流れ出る恐れがあります。故障ではありませんが、よく乾かしてからご使用ください。



各部の名称

給湯ロック

転倒してもお湯がこぼれにくい構造となっておりますが、万一転倒した場合は、お湯がこぼれ出る場合がありますので、ご注意ください。



給湯ロックレバー



ロック解除

給湯口からお湯が出ます。お湯を注ぐときは、ロック解除してください。



ロック

給湯口からお湯が出ません。お湯を注ぐとき以外は、ロック状態にしてください。

ふた開閉つまみ

蒸気口

裏側

ふた開閉つまみ

給湯口パッキン

ふた

ふたパッキン

電源スイッチ

本体

給湯口

取っ手

電源ランプ

電源 スイッチ	電源 ランプ
OFF	消灯
ON	点灯

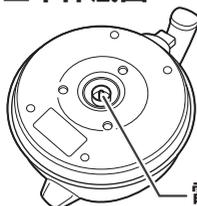
電源接続部

電源コード

給電スタンド

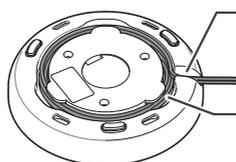
電源プラグ

■本体底面



電源接続部

■給電スタンド底面



切り込み

切り込みに電源コードをセットしてください。

電源コード

給電スタンドに巻きつけます。お好みの長さに調節してください。

ご使用前に

使用前の準備

はじめてご使用になるとき、または長時間使用していなかったときは、ふたを中性洗剤を含ませた布などで拭き、本体内側を水洗いし、乾燥させてからご使用ください。
※お手入れのしかたは 17 ページ「お手入れのしかた」を参照してください。

- ・工場出荷前に水を入れて検品をしております。
まれに、本体内に白い跡が残っていることがあります。検品時の水の跡ですので、2～3回すすいだ後、安心してお使いください。



注意

本体の底面や給電スタンドを水に浸したり、水をかけたりしてぬらさないでください。
火災・ショート・感電・故障の原因となります。

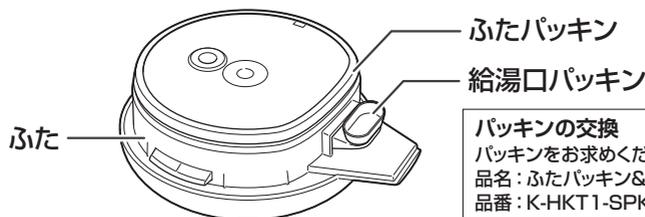
給湯ロックレバーをロックする。

- お湯を注ぐとき以外は、給湯ロックレバーをロック状態にしてください。



パッキンの取り付け / 取りはずし

ふたパッキンと給湯口パッキンの破損がないか点検してください。破損を見つけた際は使用するのを止め、新しいものと交換してください。
お湯や蒸気漏れにより、やけど・故障の原因となります。



パッキンの交換
パッキンをお求めください。
品名: ふたパッキン&給湯口パッキン
品番: K-HKT1-SPK

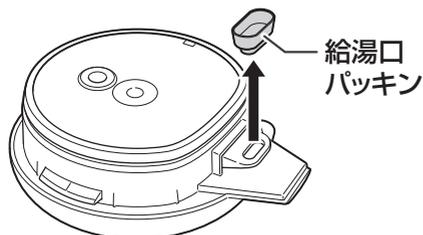


注意

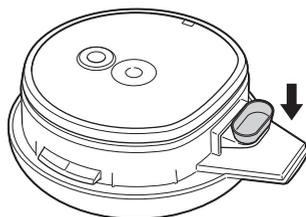
- 各パッキンを正しく取り付けてください。
水漏れやパッキンの破損の原因となります。
- パッキンを取り付ける際、強い力で引っ張らないでください。
破損の原因となります。

●給湯口パッキン

引っ張って取りはずします。

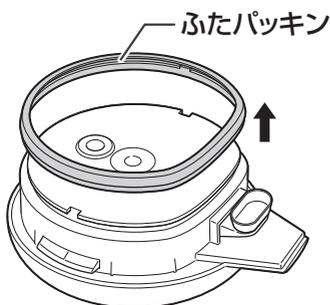


はめ込んで取り付けます。

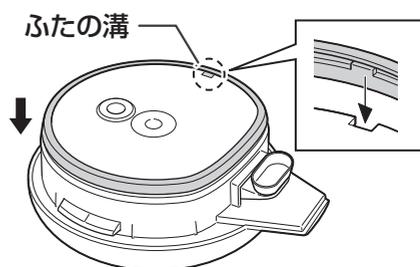


●ふたパッキン

引っ張って取りはずします。



ふたパッキンをふたの溝に引っかけ、指でなぞりながら全周を確実にめ込んで取り付けます。



ふたパッキンが正しく取り付けられているか確認してください

○ 正しく取り付けられている



✕ すき間からお湯が流れ出てやけどの原因となります。



波うっている

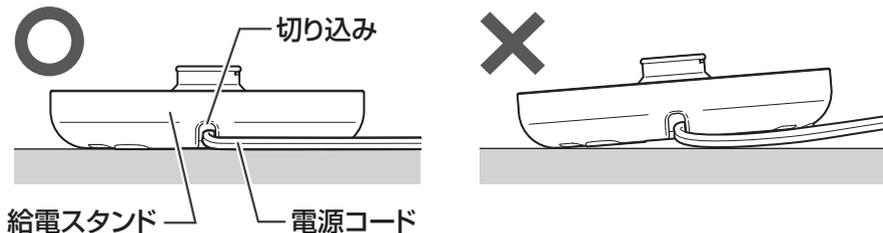


はずれている

使いかた

1 給電スタンドを安定した場所に置く。

- 給電スタンドの切り込みに電源コードをセットしてください。

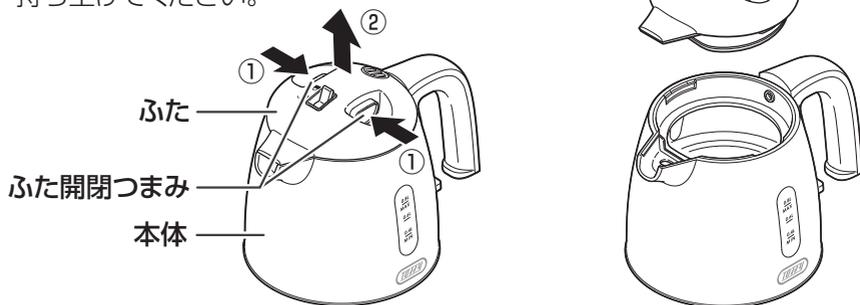


注意

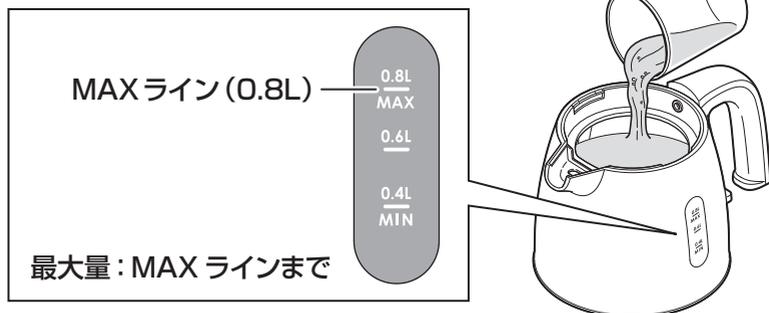
電源コードの上に給電スタンドをのせないでください。
感電・火災・やけどの原因となります。

2 ふたを開ける。

- ふた開閉つまみを押しながら、ふたを上を持ち上げてください。



3 本体に水を入れる。



⚠ 注意

- 電源接続部のまわりに水滴が付いたときは、ふきなどで必ず拭き取ってください。
火災・ショート・感電・故障の原因となります。
- 給電スタンドに本体をのせた状態で本体に水を入れしないでください。
電源接続部に水が入って、火災・ショート・感電・故障の原因となります。
- MAXライン(最大水量:0.8L)を超える量の水を入れしないでください。
火災・やけどの原因となります。
- 蛇口から水を直接入れたり流し台に置き、本体底面をぬらさないでください。
火災・ショート・感電・故障の原因となります。

4 ふたをしっかり閉める。

- 片側ずつふたを「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



⚠ 注意

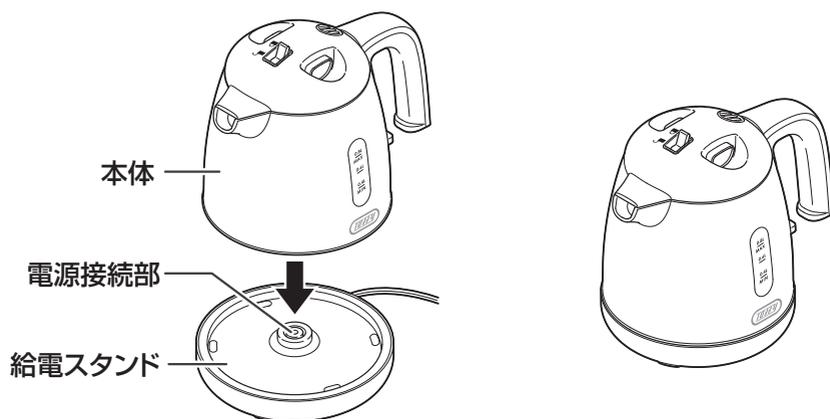
- ふたをしっかり取り付けてください。
ふたを正しく取り付けていないと、沸騰しても電源スイッチが自動的にOFFにならない場合があり、火災・故障の原因となります。

使いかた (続き)

5 電源プラグをコンセントに差し込む。

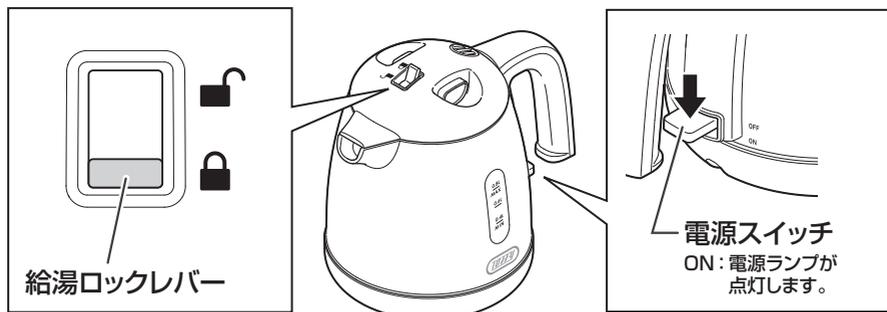
6 給電スタンドの上に本体をのせる。

- 本体と給電スタンドの電源接続部が合うようにのせてください。
※ 本体と給電スタンドの電源接続部に水滴やホコリが付着している場合は、拭き取ってください。



7 給湯ロックレバーがロックされていることを確認し、電源スイッチを下げてもONにする。

- 電源が入り、湯沸かしが始まります。
※ 電源ランプが点灯します。
- 加熱時間は室温、水量・水温によって異なります。
※ 0.8L/室温約24℃、水温約26℃の場合：沸騰時間目安は約5分です。



⚠ 注意

使用中や使用直後の本体・ふた・蒸気口周辺や電源接続部は高温になるため、顔や手を近づけないでください。
やけどの原因となります。

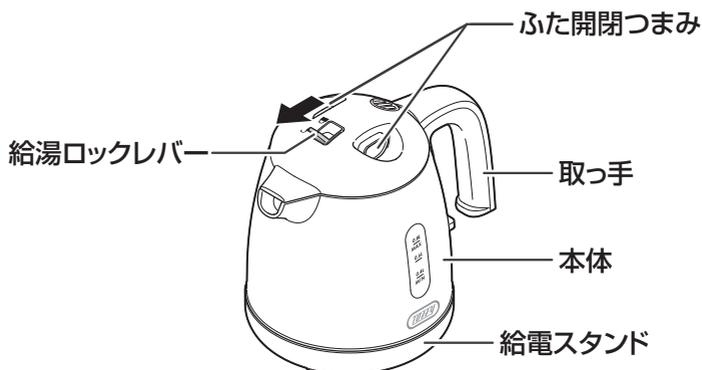
沸騰すると電源スイッチが上に上がり、自動的に電源が切れます。

※電源ランプが消灯します。

湯沸かし中に電源を切りたい場合は、取っ手を持ちながら、電源スイッチを上げて OFF にしてください。

8 給湯ロックレバーのロックを解除し、お湯を注ぐ。

- 電源スイッチが OFF になっていることを確認してから、取っ手を持って本体を給電スタンドから取りはずしてください。
- 給湯ロックレバーを解除し、ゆっくりと傾けてお湯を注いでください。
お湯が飛び散り、やけどの原因となります。



⚠ 注意

- 沸騰状態がおさまってからお湯を注いでください。
お湯が飛び散り、やけどの原因となります。
- 使用直後にはふたを開けないでください。
やけどの原因となります。
- 注いでいる間に、給湯ロックレバーやふた開閉つまみを触らないでください。
お湯が飛び散り、やけどの原因となります。

使いかた (続き)

9 給湯ロックレバーをロックする。

●お湯を注ぐとき以外は、給湯ロックレバーをロック状態にしてください。



10 電源プラグをコンセントから抜く。

お願い 本製品に保温機能は付いていません。使い終わったら、ふたを取りはずし、取っ手を持ち、ゆっくりと傾けて注ぎ口から残り湯を捨ててください。水アカの付着・においの原因となります。

お手入れのしかた

⚠ 注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- お手入れは本体や各部品が冷めてから行ってください。やけどの原因となります。
- お手入れするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシ、塩素系漂白剤などを使用しないでください。傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。
- 食器洗浄機・食器乾燥機などを使用しないでください。変色・変形・劣化や破損などの原因となります。

本体外側（底面）・ふた・給電スタンド

乾いたやわらかい布で拭きます。汚れが落ちない場合は中性洗剤を含ませた布などで拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

- 直接水をかけたり、水に沈めたりしないでください。故障・やけど・火災の原因となります。



本体の内側

- ① 食器用洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジなどを使って洗ってください。
- ② 水ですすいだ後、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。本体内側に付着した汚れ（白い浮遊物、白い斑点、赤さび状の斑点など）は水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。

汚れが落ちにくい場合は次の手順で汚れを取り除いてください。

- ① 市販のクエン酸（成分 100% のもの）約 10g をぬるま湯で溶かし、本体の MAX ラインまで入れてください。
- ② 給湯ロックレバーがロックの状態ですすいだ後、電源を入れて沸騰させ、その後約 1 時間放置してください。
- ③ ふたを取りはずし、お湯を捨て、水でよくすすいでください。
- ④ 水だけで 2 ～ 3 回繰り返してください。
- ⑤ 乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない。 電源ランプが点灯しない。	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。 → 14 ページ
	電源が OFF になっている。	電源スイッチを ON にしてください。 → 14 ページ
電源がすぐに切れる。	空焚きをしている。	安全装置により、水が入っていないと電源が切れるようになっています。水を入れて再度電源を入れてください。
電源プラグや電源コードが熱くなる。	使用中や使用直後は、電源プラグや電源コードが熱くなる場合があります。	異常ではありません。
臭いがする。	本体内側が汚れている。	お手入れをしてください。 → 17 ページ
お湯を沸かすとプラスチックくさい。	プラスチック製電気製品（本製品）は、一般的にプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいが出る。	においが気になる場合は、以下の手順でお手入れをしてください。 【重曹によるにおいの軽減方法】 ①水を MAX ライン（最大量：0.8L）まで入れ、その中に重曹（15g 程度）を入れます。 ②よくかき混ぜて重曹を溶かします。 ③ふたを閉めて沸騰させ、その後、半日（12 時間）放置します。 ④お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
本体外側が異常に熱くなる。	電源スイッチを押し続けて湯沸かしを無理に継続している。	電源スイッチを押し続けしないでください。

こんなとき	原因	対処方法
本体底面や電源スイッチ部から水滴が垂れる。	水蒸気を感じて電源スイッチが切れる仕組みになっています。蒸気の気化水が水滴となり、本体底面の排水口や電源スイッチ部から水滴が垂れる場合がある。	故障ではありません。 また故障の原因になることもありませんが、安心してお使いください。
湯沸かしが完了しない。	ふたがはずれている。	ふたを確実に取り付けてください。 → 13 ページ
	給湯ロックレバーが解除になっている。	給湯ロックレバーをロックしてください。→ 10 ページ
吹きこぼれる。	傾けて設置している。	水平なところに設置してください。 → 12 ページ
	MAX ライン（最大量：0.8L）を超える量の水を入れている。	水量を MAX ライン（最大量：0.8L）以下に減らしてください。 → 12 ページ
	水以外の飲料を入れている。	水以外の飲料を入れないでください。

長期間ご使用の給湯ロック付き電気ケトルは定期的な点検をお願いします

- ・ 電源コードが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深い傷などがある。
- ・ 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・ そのほか異常や故障がある。



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy 給湯ロック付き電気ケトル
品番	K-HKT1
外形寸法	約 225(W) × 190(H) × 155(D)mm
重量	約 865g
電源	AC100V 50-60Hz
定格消費電力	900W
定格容量	0.8L
電源コード長	約 0.75m
生産国	中国
付属品	ユーザーズガイド（保証書含む）

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は（株）ラドンナ、（株）キングジムの登録商標です。